

5 剛強な基礎の配置

建物に作用する地震力をスムーズに地盤に伝え、また、地盤に生じる地震時の局所的な変形の影響を建物に生じさせないためには、建物下部に剛強な基礎を配す必要があります。

①連続した布基礎の配置

基礎は鉄筋コンクリート造の布基礎とする。基礎の剛性を高めるために布基礎は連続して配置し、玄関土間の下部等にも布基礎を配置する。

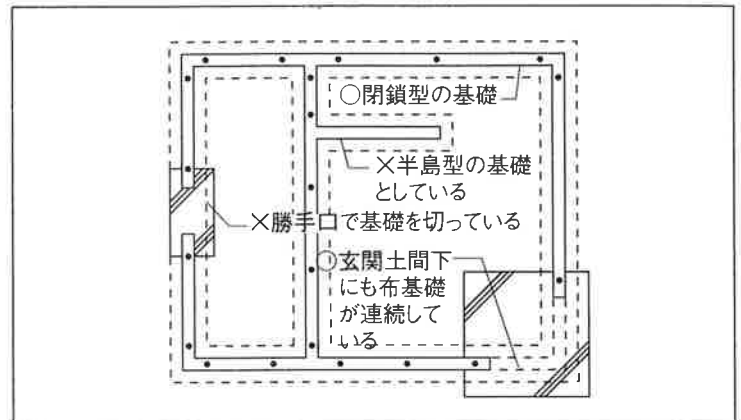


図-6 連続した布基礎の配置

②丈夫な布基礎

布基礎は図-7に示す形状とし、基礎梁部及びフーチングを鉄筋で補強する。布基礎の幅は地盤の耐力に応じて定め、450~600mm以上とする。

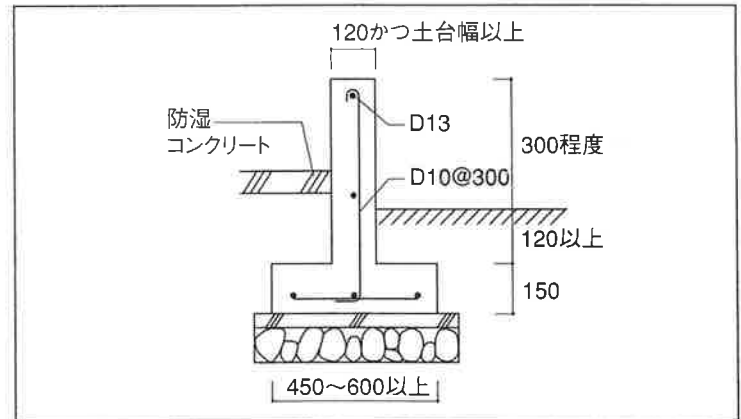


図-7 布基礎の形状

③開口部の補強

基礎に設ける床下換気口用の開口部は鉄筋で適切に補強し、地震時にアンカーボルトに作用する引張力等により基礎が開口部で破損しないように配慮する。

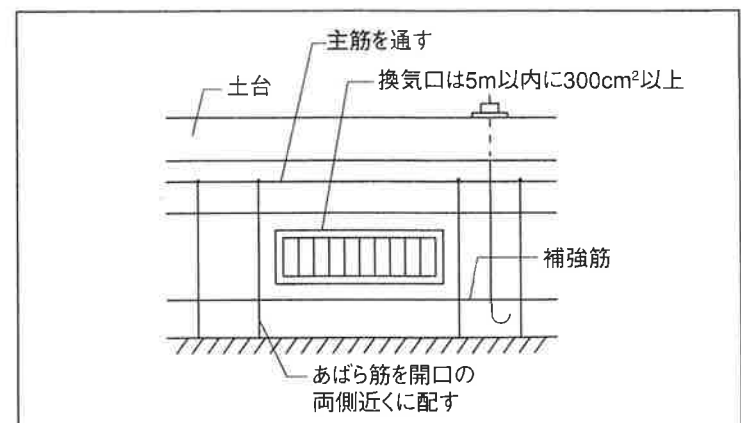


図-8 床下換気口の補強